

人文科学研究所 研究報告会

日時：2025年11月29日（土） 13:00～14:10 ※聴講自由

会場：オンライン（Zoom）開催

Zoom 参加を希望される方は、以下の URL または右記 QR コードより、事前申込をお願いいたします。

<https://forms.gle/VoiWJ9qUSxcVLHPR7>

登録後、ミーティング参加に関するメールをお送りいたします。



◆所長挨拶

◆報告 1 13:05～13:35

題目：中国浄土教の仏身観——唐代景教の「適応論」と関連して

報告者：宮井 里佳／景教資料の総合的研究 研究班（代表：宮井里佳）

中国唐代の景教の「適応論」と共通する考え方が、同時代の道教、仏教、儒教にも見られることがわかってきました。その中で、ここでは中国浄土教の仏身観を取り上げ、初唐の道綽の思想を中心に検討し、それが中国思想の「体用」思想に通底するものであることを考えます。

◆報告 2 13:40～14:10

題目：漢詩文にみえる能書－詠史詩の事例から－

報告者：高田智仁／日本および中国の書の多角的的研究 研究班（代表：高橋利郎）

書を善くした人々、いわゆる「能書」をめぐることは古今を問わず大きな関心事となってきた。一方で、これまでの論及では、和歌・俳句・漢詩に詠み込まれた「能書」については未だに十分とは言えない状況にある。本発表では、江戸時代後期に流行した「詠史詩」に着目し、その様相の一端について言及する。